

大阪中華學校學生請假單（欠席屆）

申請日期： 年 月 日

請 假 人	班級	小學・中學	年級	聯 絡 人	姓名	
					電話	
	姓名				攜帶	
請假類別	<input type="checkbox"/> 事假 <input type="checkbox"/> 病假 <input type="checkbox"/> 特別假（公假、喪假、法定傳染病等） <input type="checkbox"/> 其他（ ）			證明文件	<input type="checkbox"/> 師長證明 <input type="checkbox"/> 公文 <input type="checkbox"/> 醫院證明 <input type="checkbox"/> 其他 <input type="checkbox"/> 家長證明 <input type="checkbox"/> 無	
請假事由						
請假日期	自	年	月	日	時起	合計 日（時）
	至	年	月	日	時止	
請假規則	<p>1. 本校學生因事或病不能出席各種課業活動，均應依照本請假規則，由家長或監護人辦理請假手續，其未經准假而擅自缺席者以曠課計算。</p> <p>2. 學生因偶發事故或在家生病不能來校，請家長或監護人於當日上午 8:40 前電話 06-6649-6849 聯繫學校代為請假，待返校後補辦請假手續。</p> <p>3. 請假規定： 事假：須檢附有關證明文件或家長證明，並於事前辦妥請假手續。 病假：須請家長於當日聯繫學校，三日以上須檢附醫院診斷證明書。 喪假：直系親屬及外祖父、母，七日（特別假），超過日數以事假計算。 * 學校活動或考試期間請假，須經學務、教務主任、教頭及校長審查核准。 * 畢業班級，因升學考試，給予特別假三日（須檢附學生本人到場證明），超過日數以事假計算。</p> <p>4. 學生請假一日以內者由導師核准，二日以內由導師核轉學務和教務主任、三日以上者需呈教頭、校長核准。</p> <p>5. 全學期事假每滿五日扣操行分數一分、病假每滿十日扣操行分數一分、特別假不扣分。</p> <p style="text-align: center;">家長簽名：</p>					
	級任導師 （一日以內）	學務主任 （二日以內）	教務主任 （二日以內）	教頭 （三日以上）	校長 （三日以上）	

学校感染症等に係る登校・登園に関する意見書

氏 名 (男・女)

生年月日 平成 年 月 日 生まれ

下記の疾患に罹患したため、学校保健安全法施行規則にもとづき療養を指示していましたが、感染のおそれがきわめて少なくなったので、 月 日以降の登校・登園が可能であると判断しました。

第1種感染症 () [治癒]

第2種感染症 インフルエンザ(A型・B型) 小中学校/高校/大学：発病後5日かつ解熱後2日経過
幼稚園：発病後5日かつ解熱後3日経過

麻疹 [解熱後3日経過]

風疹 [発疹消失]

水痘 [すべての発疹の痂皮化]

咽頭結膜熱 [主要症状消褪後2日経過]

流行性耳下腺炎 [耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現したあと5日経過し かつ全身状態が良好]

百日咳 [特有の咳が消失 または 5日間の適正な抗菌性物質製剤療法が終了]

結核 [感染のおそれなし]

髄膜炎菌性髄膜炎 [感染のおそれなし]

第3種感染症 流行性角結膜炎

急性出血性結膜炎

[感染のおそれなし] 腸管出血性大腸菌感染症(*) (*便の細菌培養において2回陰性が確認されたものとするのが一般的である。

コレラ

細菌性赤痢

腸チフス

パラチフス

◆第3種その他の感染症 [①～④は、出席停止により感染拡大防止効果があるもの]

① A群溶血性連鎖球菌咽頭炎(溶連菌感染症)

② アデノウイルス感染症

③ 感染性胃腸炎(ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルスなどによるもの)

④ 急性細気管支炎(主としてRSウイルス感染によると考えられるもの)

[その他、個人の療養効果を重視した感染症]

マイコプラズマ感染症/異型肺炎・単純ヘルペス歯肉口内炎・带状疱疹・()

いまだ病名の確定には至っていませんが、下記のような病状から「感染のおそれなし」と判断できず、現時点での登校・登園は不適切であると判断します。

血液・粘液を含む便

この24時間以内に複数回の嘔吐

原因不明の発しん

よだれを伴う口内痛・口内炎

発熱・脱水などの全身症状と持続する原因不明の腹痛

がんこな咳漱

唾液腺の腫大

その他の意見:

平成 年 月 日

医療機関名:

診察医師(診察した医師に限る):